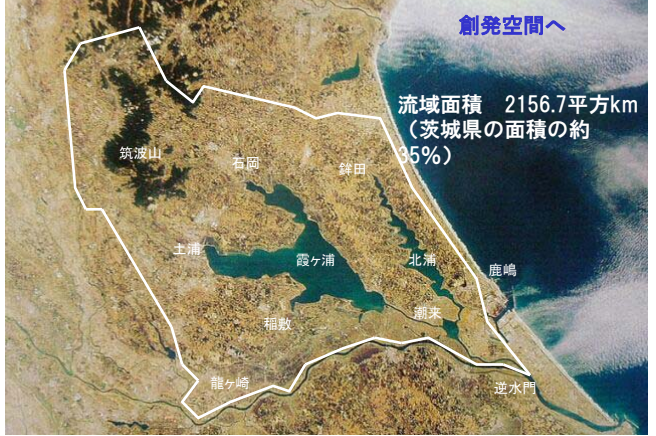


市民型公共事業 霞ヶ浦アサザプロジェクト
付加価値の連鎖で地域を元気にする
問題解決型から価値創造型へ

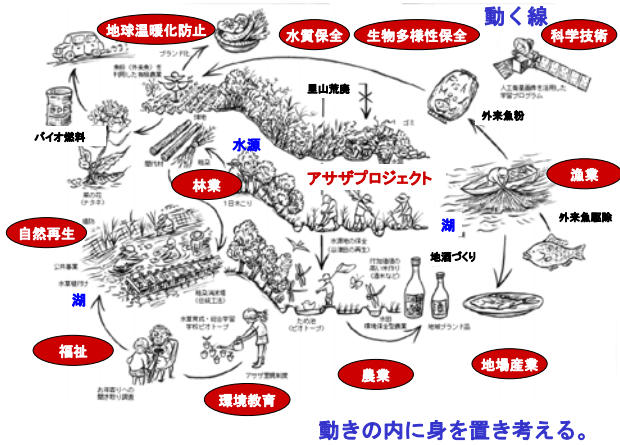


NPO法人アサザ基金 NPO法人アサザ基金 代表理事 飯島 博

霞ヶ浦・北浦の広大な流域 この空間を読み替える！



自己完結しない事業！ 付加価値(良き出会い)の連鎖



行政との協働
霞ヶ浦の再生事業



NPO法人アサザ基金

自然保護ではなく価値創造による水源地の再生
ソーニングではなく



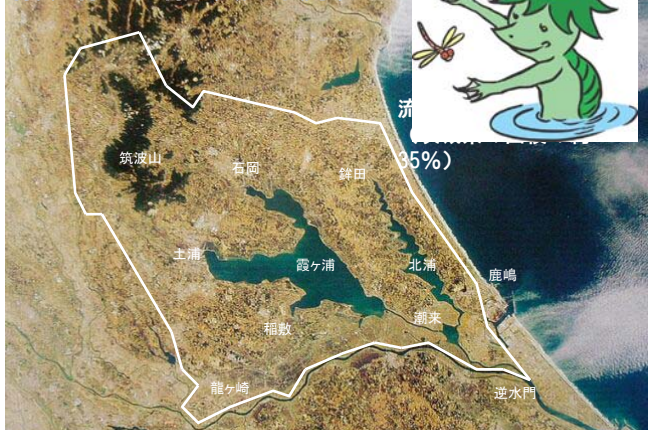
新しい物と金の流れで生物多様性を保全する
ビジネスモデルの展開



生物多様性保全と地域活性化を一体化した
まちづくり学習の流域展開



霞ヶ浦・北浦の広大な流域



空間を動く線になって読み替える。



広大な霞ヶ浦
流域(2200平方キロメートル)
28の市町村、3県にまたがる
縦割り化・分断化した社会



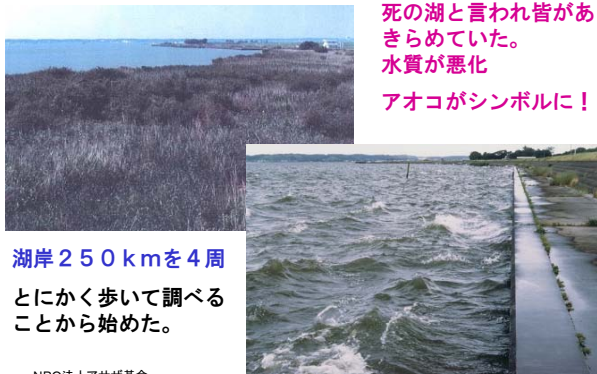
湖岸総延長250kmは日本一

< 諸元 (琵琶湖との比較) >

Category	Item	Unit	Lake Kasumigaura	Lake Biwa
Lake	Origin	-	Inland sea	Graven lake
	Maximum depth	m	7	103
	Average depth	m	4	41
	Surface Area	km ²	220	670
	Shoreline	km	250	235
	Volume	billion t	approx.0.8	approx.27.8
	Average water turnover	days	approx.200	approx.2,000
Catchment area	Elevation	m	0.16	85
	Surface Area	km ²	2,156	3,844
	Municipalities in catchment area	-	45 cities,towns,villages	50
	Municipalities bordering the lake	-	23 cities,towns,villages	20
Catchment area	Catchment area population	-	approx.900,000	approx.1,130,000
	Average annual rainfall	mm	1,350(average annual volume of water about 2.82 billion m ³)	1,924
	Average annual outflow	billion t	approx.1.4(average annual outflow ratio 49%)	approx.5.7

NPO法人アサザ基金

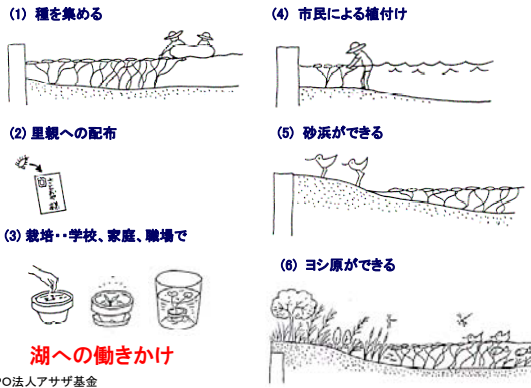
霞ヶ浦・水資源開発による環境破壊(1970年代)



アサザとの出会い・湖の日常に可能性を発見



アサザの里親制度・物語が始まった。
霞ヶ浦という空間をファンタジー化する!



子ども達が湖に入った!



市民型公共事業
湖の自然再生が各地で始まる!
20万人が参加!



課題! ネットワークの消失、そして再生

自然環境の連続性・ネットワーク
分断化・消失⇒生物多様性の低下・生物の絶滅
社会の連続性・ネットワーク (コミュニティ・世代)
縦割り・専門分化⇒分断化・消失
.....空間や時間の連続性の消失.....
連続性・ネットワークの再生をめざすアサザプロジェクト
自然環境のネットワークと
重なり合う
社会的人的ネットワークの構築



NPO法人アサザ基金

部分最適化する環境対策と技術の限界
研究者は制度論が好き。



規制や制度に適応した環境対策や技術は部分最適化する。

受け身の対策や技術→総合化が起きない！

規制や制度→固定した枠組み・ゾーニング

→新たな社会システムの構築につながらない。

環境という文脈で社会を読み直すことで

社会に新たな価値を創造するためのポジティブな枠組みを能動的につくる。

欧米主導の枠組み論 → 日本からの様式論へ

制度や仕組みだけではビジョンは描けない！

欲望をデザインする。



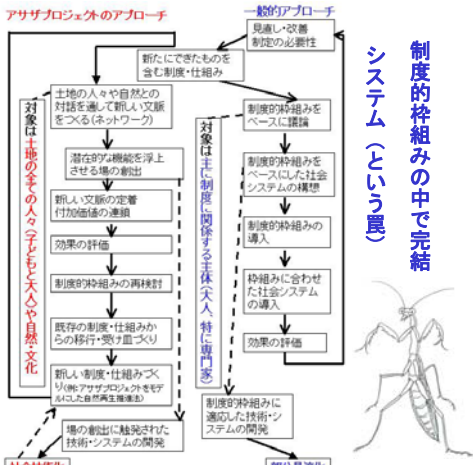
たとえば環境の保全に向けて、
制度・規制・強制的な合意。欲望の否定など

「欲望を捨てなさい。規制を受け入れなさい。」

動きが止まる・・・ビジョンや展望につながらない。

欲望が作る生き方や空間・時間を修正するだけでいいの？
新しい生き方や創造につながらない（問題解決型・反動的）。

だから、欲望をデザインする（価値創造型）。
何を学ぶか（選択）ではなく、良き出会いの連鎖を通して学ぶ。



生活世界（動的な世界）
制度（形式）から様式へ展開する

制度的枠組みの中で完結
システム（という層）



総合化は「する」ものではなく、「起きる」もの。
環境という文脈が社会に総合化を促す。

総合化・・・未開拓の広大な領域がある。

無限の可能性が眠っている。

新しい発想が必要。

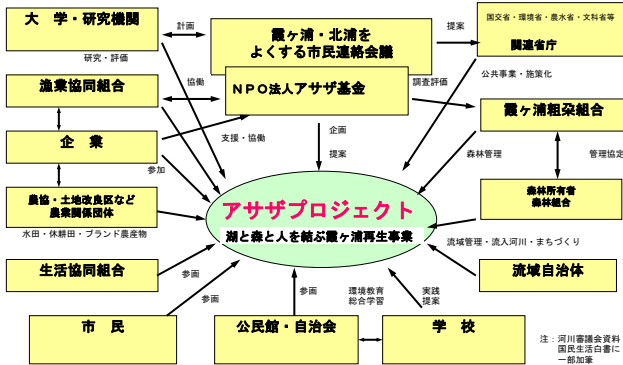
新しい価値が必要。

新しい生き方が必要。

場（竜の卵）の創出が必要。



中心に組織の無いネットワーク～市民型公共事業



ネットワーク型社会の構築

ピラミッド型社会 → ネットワーク型社会
市民参加 行政参加

中心に組織のない広域ネットワーク

個々の人格が場として機能するネットワーク

中心は「場」・・・協働の場
企業や行政をネットワークの中で機能させる。
良き出会いの連鎖を提供する。

機能するネットワークとは

運動のネットワークではなく・・・付加価値の連鎖

価値のネットワーク 意味のネットワーク

流れの中に意味や価値を投げ込む。

動的なネットワーク 動きが止まる（組織化する）と消滅する。
中心の無いネットワークは動き、機能し、展開する。

生成するネットワーク
つながることで新しい意味や価値が生まれ続ける。

組織依存のネットワークは機能しない！

良き出会いの連鎖が不可欠である。

縦割りを壊す？！ 縦割りを溶かす？！

壊す ⇒ 古いピラミッドから新しいピラミッドへ。
別のピラミッドが出来てしまう。力の論理
破壊⇒構築⇒破壊⇒構築

溶かす ⇒ ピラミッド型からネットワーク型へ
壁(かべ) → 膜(まく) 価値創造
良き出会いの連鎖⇒変容⇒変革

環境という新たな文脈(良き出会いの連鎖)が社会に浸透することで、社会の壁を溶かすことができる・・・連鎖の力。



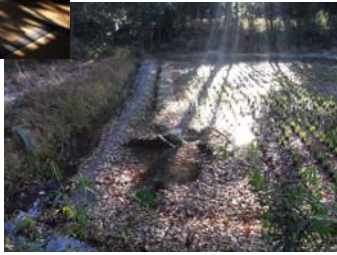
日本の様式
壁で仕切らない
日本人の美意識

自然との親和性

襖の文化
外と屋内を仕切る障子
は襖。

屋内を仕切る襖も動
かすことができる。

NPO法人アサザ基金



谷津田の風景

100年の夢を地域
の人々と共有

野生生物が
社会システムを評価

自然環境の連続性
と
社会システムの連続性

破滅しないことは目標
にはならない。

社会の潜在性に目を向
け未来図を描く。

NPO法人アサザ基金



総合学習・環境学習との連携



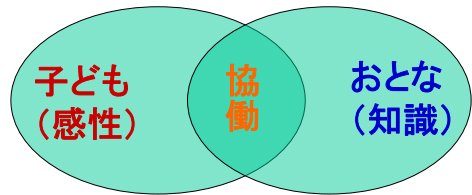
毎年1万人を超える小
中学生が参加

子どもたちが夢を共有。



NPO法人アサザ基金

子どもと大人の互いの持ち味を活かす



子どもの感性～全体認識～総合化への意志
大人の知識と理性～分析力と構築力
ふたつの協働によって総合化(良き出会いの連鎖)への道をひらく。

NPO法人アサザ基金

人生のファンタジー化

アサザ基金

縦割り化した社会を、
子ども達の感性で結び直す

子どもの日常空間に着目。空間を読み直す。

小学校区.....子どもの感性が息づく空間・日常空間

小学校区.....子ども(6歳から)が歩いて通うことを前提に
空間配置されている。

小学校区.....地域コミュニティの範囲とほぼ一致。

寺子屋(江戸時代)⇒尋常小学校(明治時代)⇒小学校(現在)

地域コミュニティ 地域コミュニティ 地域コミュニティ

地域ぐるみで子ども達を育てる文化の復興

NPO法人アサザ基金

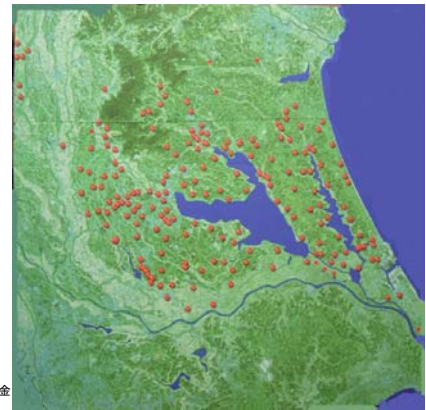
アサザプロジェクト...170を超える小学校が参加

子ども達の感性で流域を被う空間のつながりを取り戻す!

流域ぐるみで
湖を再生する。

幼稚園・中学校・高校を加えると200を超える!

NPO法人アサザ基金



既存の社会資源を読み替え機能させる!

生物多様性保全に向けた空間の読み直しは
新たな技術開発を促す。



日常的なモニタリングを
支援するインターフェイス

NPO法人アサザ基金

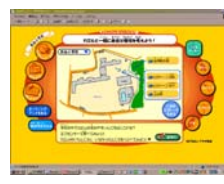


NECと共同特許取得



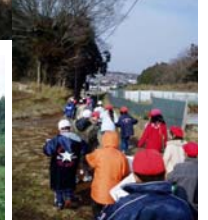
アサザプロジェクト

地域コミュニティ機能を活かした宇宙開発事業
水源地に生息するカエルを探す。



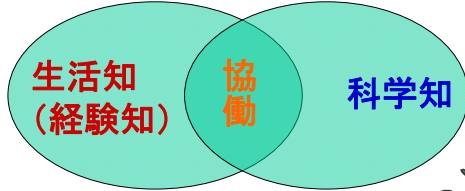
新たな技術展開を生み出す場を作る。

アサザ基金

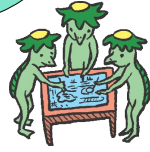


新しい知の構築

人々の日常と結び付く「空間的・時間的連続性を持つ技術」



社会システムの構築と一体化した
新たな技術展開・システム開発への
パラダイムをひらく。
総合化する主体は統合する意志を持つ生活者

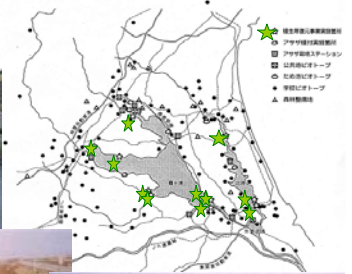


NPO法人アサザ基金

アサザ基金

33

子どもと大人の協働で行なう国の自然再生事業



NPO法人アサザ基金 大規模な公共事業

34

自然が失われた湖に、 どのようにして自然を取り戻すのか？



昔の景観が完全に失われ
てしまった湖。



自然再生に必要な過去の
記録がない。

NPO法人アサザ基金

35

自然再生の目標づくり ..お年寄りから昔の湖岸の様子を聞き取る



36

福祉事業との連携した自然再生事業



公共事業にお年寄りの知恵や
経験を活かす！

湖に拡張された身体図式の復
元。

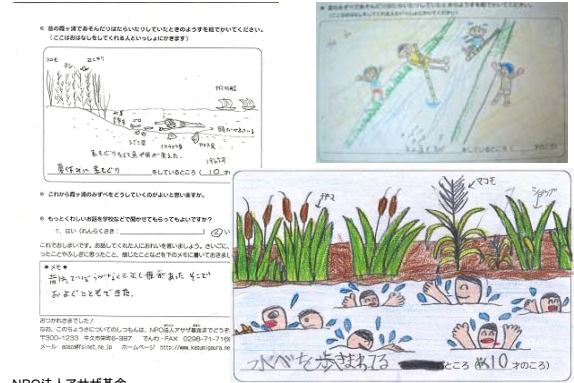


自己完結しない福祉
社会のあらゆる分野に関か
れた福祉をめざす。

NPO法人アサザ基金

37

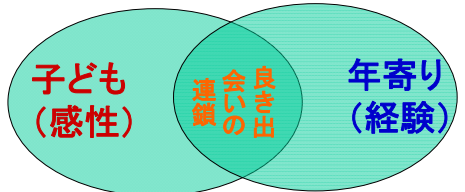
記憶を掘り起こす！ ..地域の環境を身体図式の拡張として 捉え直す。空間の読み直し



NPO法人アサザ基金

38

公共事業が世代間交流の場に！



子どもの感性～全体認識～総合化への意志
経験と出会う喜び(生得)
年寄りの経験～全体認識～総合化への意志
経験を伝える喜び(体得)

NPO法人アサザ基金

人生のファンタジー化

アサザ基金

39

みんなで学校ビオトープを作る



生き物とお話する
生物の体のつくり、くらしを基本
に設計する。



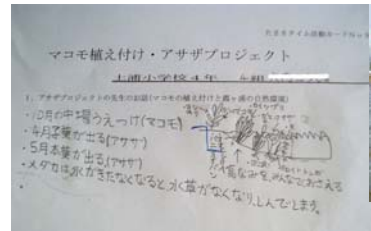
NPO法人アサザ基金

40

◆ 学校ビオトープ(霞ヶ浦に自生する植物を植える)



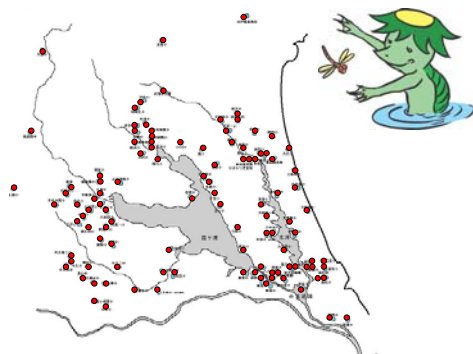
増やした水草を湖に植える



アサザプロジェクトの学校ビオトープ・ネットワーク

・・・参加校113校(2004年10月現在)

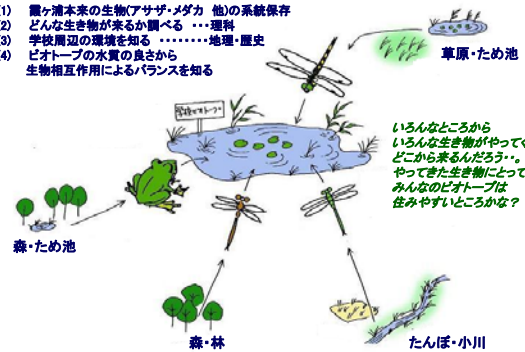
流域全体で生物供給ポテンシャルを把握する。
流域という空間を読み直す。



NPO法人アサザ基金
生成プロセスは要素を産出する。
生成プロセスと要素は因果関係になるのではなく、次元を異にする。

学校に集まる生物を生徒たちが常時観察。

- (1) 霞ヶ浦本来の生物(アサザ・メダカ 他)の系統保存
- (2) どんな生物が来るか調べる・・・理科
- (3) 学校周辺の環境を知る・・・地理・歴史
- (4) ビオトープの水質の良さから生物相互作用によるバランスを知る



供給ポテンシャル→地域の生物多様性を反映

生き物の目で空間を読み直す~学区のファンタジー化



生き物の目で空間を読み直す

自然と共存するまちづくりを考える。



生き物の目で、荒廃した水源地の再生を考える。



提案と合意形成

市役所との協議

地域への説明

(牛久市立神谷小学校)



まちづくりを市長に提案!

発表を熱心に聞く市長



ぼくたちの提案を実現するために大人力を貸してください!



今日はみんなに“勉強する”
ということの本当の意味を
教えてもらったよ 校長先生

5年生になって、現地測量と手続き

造成許可の書類作成も
やれることは自分たち
でやる!



学校近くの荒廃した谷津田
で測量する生徒たち。

NPO法人アサザ基金



工事が始まった!

みんなで工事
生き物のこと
人のことを考えて。



2005年7月荒れていた谷津田

田んぼと水路
池を再生

2007年1月ついに実現!

2007年5月田植え

NPO法人アサザ基金

小学生による公共事業



年々広がるビオトープ
モニタリングも継続中です。

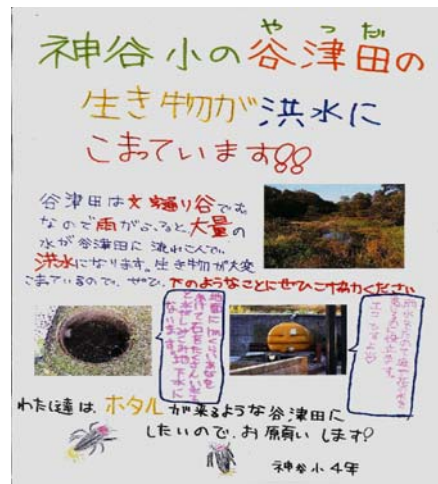
谷津田上流の市街地でゲリラ豪雨対策をテーマに。

新しい課題の
発見。
まちづくりを
考え提案する。



雨水タンクや浸透弁の設置な
どのまちづくり提案を議論。

市長に提案します。



雨水タンクや浸透升を校庭に設置しました。

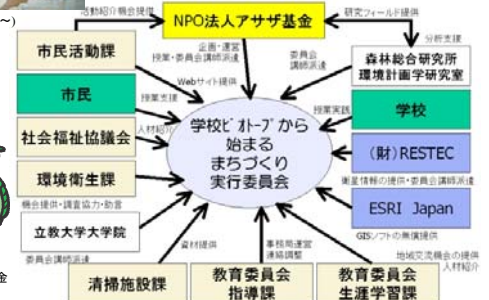
雨水の有効利用で洪水を防ぐ。



地域ぐるみで子ども達を育てる！
子どもたちが提案するまちづくりを実現。



1 実行委員会の様子(2004年～)



トキやコウノトリの舞う鹿島神宮の森 100年構想
地域資源を活かした計画づくりの例



山之上谷津田再生協議会設立
地域ぐるみで子どもたちを育てる体制が整いました！



自治会や地区公民館も参加



水源地谷津田の再生による地域活性化モデル



企業と協働で水源地を再生
流域各地で水源の湧水を湛える田んぼを復元



長年使われずに荒れている谷津田

25年以上放棄されていた谷津田がよみがえった！

再生地で稲作～完全無農薬栽培で



社員家族 延べ
8000人以上が参加

NPO法人

アサザ基金

地域住民との交流



酒仕込みを体験・地元の酒造会社で

新たな文脈（環境）で地場産業を活
性化する。



生物多様性保全から生まれた地酒です！
水源地再生＝地域活性化 NEC



65

三井物産との協働事業
 牛久沼の源地（谷津田）を再生



66

ホギメディカル(株)・牛久市と協働で水源地を再生。

谷津田再生前



谷津田再生後



68



UBS証券（スイス本社）も参加
 鹿嶋市・潮来市で水源地再生と地酒づくり。

67

損保ジャパン環境財団CSOラーニング
 生による谷津田の再生事業



- ・霞ヶ浦の水源地保全
- ・環境と社会のあり方を深く考える人材の育成
- ・地域の活性化(旧八郷町)

NPO法人アサザ基金

69

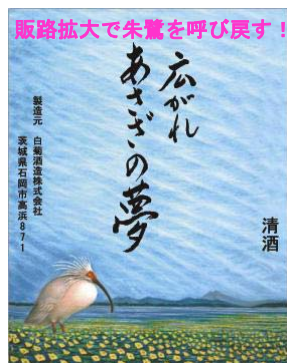
霞ヶ浦・北浦のわかさぎ、しらうお、うなぎを肴に飲みたいな。



谷津田再生の地酒が次々と登場しています！
 今年さらに1銘柄が増えます！

70

流域各地の蔵元と連携して
 流域ブランドをめざします！



第1回生物多様性アワード受賞

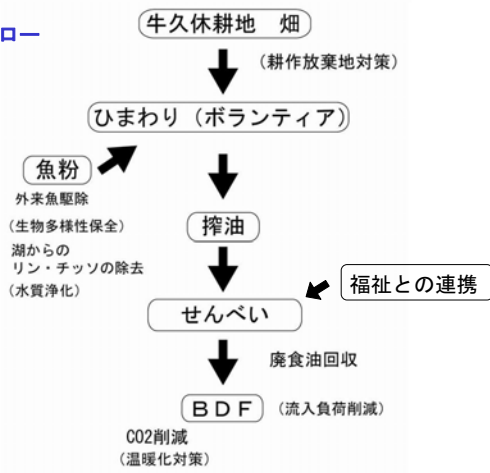
71

キヤノンマーケティングジャパン株式会社との協働事業
 人も河童も喜ぶWINWIN型循環社会の構築



72

事業フロー



耕作放棄の畑



ゴミの投棄
外来種の繁茂

という問題が起こる



再生された畑

再生するには大きな労力
が必要



社員ボランティアによる種まき



CO2を吸収しながら育つ
ヒマワリ

まもなく開花します！！
下；イメージ

霞ヶ浦再生を願う人々が出会い生まれる・・・
湖がよるこぶせんべい

水源地谷津田からモチ米、
再生地から食用油、霞ヶ浦のエビ！



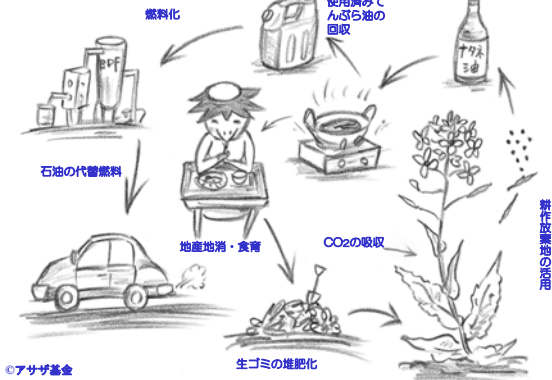
水源地再生、地域活性化、水産資源保
全という付加価値のあるせんべいに！
製造には福祉作業所の協力もいただきます！



水源地も元気！

湖も元気！

せんべいづくりの後にでる廃油は燃料に
牛久市バイオスタウン構想図 地球温暖化防止



WINWINなわけ

- エビ・・・密猟をしない漁師から買い上げ
湖の生物多様性保全。資源保護
- 福祉・・・雇用創出 社会参加
- もち米・・・水源地再生で無農薬無化学肥料栽培
- 食用油・・・廃油利活用→脱温暖化、循環型社会
- 景観づくり・・・美しい農村風景の再生

その他、多くの企業がアサザプロジェクトに
参加！



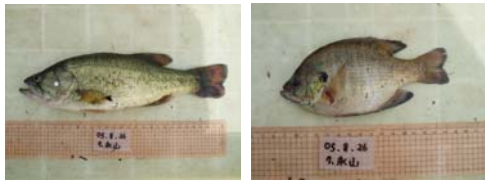
日立電線の植付会
損保ジャパン
トヨタネッツなど

池で育てたアサザを植付る(株)ツムラ社員
キャンノン・マーケティングなど。

セブン-イレブン みどりの基金
環境パートナーシップ協定助成金
事務所経費など組織運営費を助成
頂いています。



生物多様性の保全・外来魚問題に取り組む



ブラックバス (北アメリカ)

ブルーギル (北アメリカ)

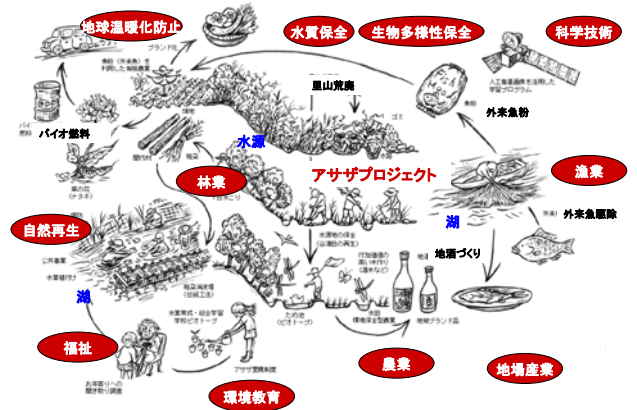


アメリカナマズ (北アメリカ)



ハクレン (中国)

循環する事業の中に位置づける 自己完結しない外来魚対策



漁業と農業の連携による外来魚駆除事業



2005年度は100トン进行回収
2006年度も100トン进行回収
2007年度も100トン进行回収
2つの漁连から買い上げる。

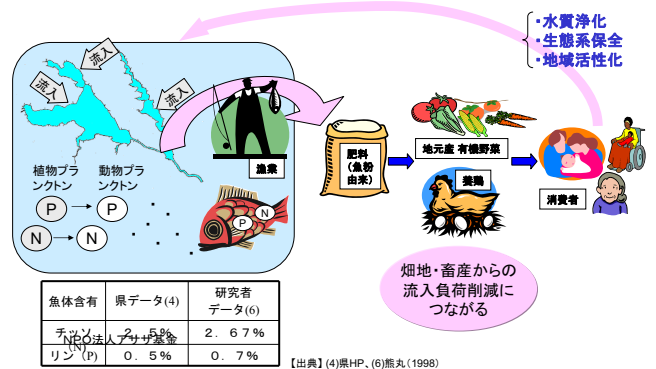


年間1千トンの駆除が目標ですが、魚粉の需要拡大が課題です。売込み中です！

NPO法人アサザ基金

循環の輪を創りながら、効果的・持続的に湖からチッソ・リンを回収

環境という文脈化で新たな結びつきが生まれる！



生物多様性ブランド！地元スーパーで販売中！



◆登録商標



カスミスーパー 24店舗で好評販売中！

イオンアグリでも肥料に活用。



水揚量拡大と魚粉需要を高めるために...

龍ヶ浦流域は加工用じゃがいも一大産地です！

スナック菓子など加工用じゃがいもやビール用麦などの栽培に外来魚粉を活用してもらい大きな需要を生み出してほしい。



ビールやスナック菓子で活用をめざす！



アサザプロジェクトをモデルにした事業・秋田県

八郎太郎物語プロジェクト (2004年)
竜を呼び戻そう！(秋田県環八郎湖)



NPO法人アサザ

秋田での出前授業 すでに八郎湖流域の全小学校で8千人の生徒が授業に参加しました。

竜は動く線！



大きな竜=八郎太郎 トンボ=小さな竜
地域に伝わる物語をとおして空間を生物多様性により文脈化。

八郎湖流域のブランドづくり
秋田県地域振興局
子ども達の学習が主役
総合学習＝企画会議

大久保小4年生
八郎湖を愛かにするチーム（理八郎湖・水の精創出チーム）

「発見！地域のお宝」検討委員会事務局
大久保小4年生全員が企画委員

社会起業家を育てる。
シンボルマークを使った新商
品の提案を売り込む学習へ。

地元商店の人を相手にセール
スの練習をする生徒達（下）

NPO法人アサザ基金

地元の商店会長と意見交換

千葉県松戸市
川風を感じる街づくり
商店街の活性化
地元の商店街で昔の街の様
子（環境）を聞き取る。

千葉県松戸市立中部小学校
NPO法人アサザ基金

都市にも生き物と呼ぶぞ！ピオトーブづくりがはじまった！
都市と農村を生き物の道で結ぶ学習に展開。
子ども達によるまちづくり・空間の読み直しが始まる。

NECキャピタルソリューション（株）と協働



荒川区尾久西小学校

墨田区二葉小学校

都内各地で展開中

NPO法人アサザ基金

シャープ株式会社
気象キャスターネットワーク
アサザ基金

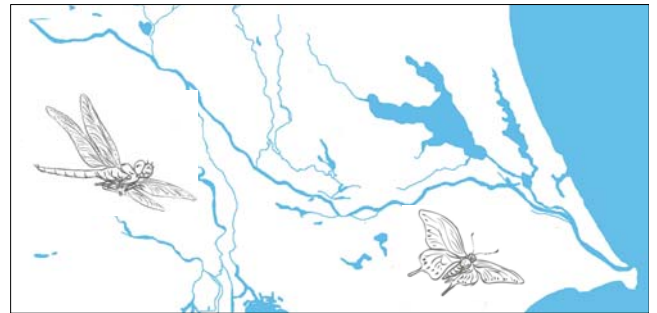
全国で協働出前授業を実施中です。

生きものとの共生

太陽光発電・リサイクル

地球温暖化防止

生きものの道で地域と地域を結ぶ
都市と農村の交流。
縦割りの壁を溶かす空間のファンタジー化
環境学習によって新たな思考平面が浮上する。

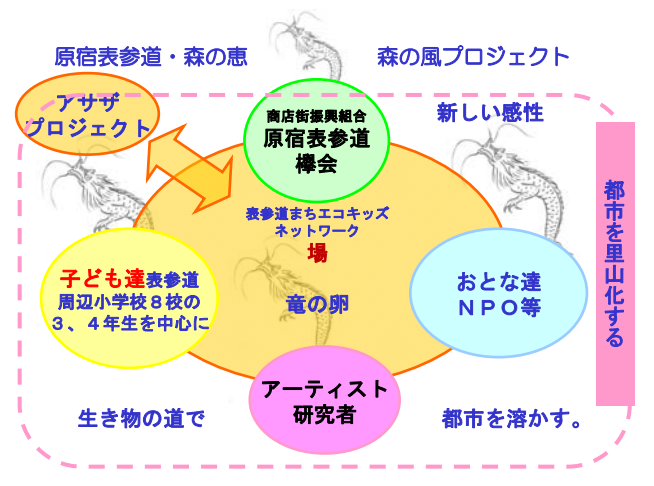


NPO法人アサザ基金

若者文化の発信地
原宿でも空間を
読み替える。

8月21日に風船ウォークを開催！
8月16日に、風船トークを開催！

生物多様性保全と脱温暖化を若者のライフスタイルに浸透させる。



東京中心部に残る谷津田(明治神宮)



NPO法人アサザ基金

この谷は竹下通りにつながっている。

1881年当時の表参道周辺 赤の塗りつぶしは谷津田



NPO法人アサザ基金

都市に眠る巨大な竜

神宮の森から広がる風の道・生き物の道を体感するイベント8月21日

都市空間を読み替える

- ・表参道原宿を風と一緒に歩く。
- ・生き物の道を探すなど。



風船が教えてくれる風の道

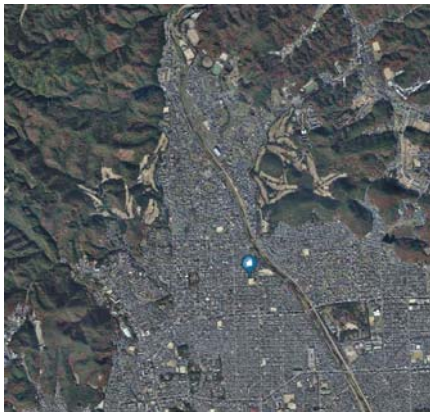
北九州市での展開・脱温暖化に向けた都市づくりを子ども達が市長に提案します。



ハクロンボの道を都市に再生
清流と木陰、涼風を求めて生息するトンボと対話しながら都市づくりを進める。

NPO法人 アサザ基金

京都、紫竹小学校で学習プログラムを進めています。



都市の中心部を軸に生き物の道の今と昔を調べる。生き物の目で都市空間を読み直す。これからの京都を提案する。



三重県大紀町での学習
地域のお宝さがし・七保小ブランドづくり学習
宮川上流、人口2400人の過疎地域

NPO法人アサザ基金



沖縄県

環境保全型栽培のサトウキビのブランド化を目指します！



島の唯一の水源は地下水
その地下水が畑の肥料などによって汚れはじめています。

多良間島と宮古島の小学校で実施中！



多良間島から南の島の風を贈る。クヴァ・メールプロジェクト

来年はクバ扇を子ども達と作り、南の島の風を原宿に贈る予定です。



写真：多良間村制施行80周年記念写真集「多良間島の八月降り」より



神木・クヴァ



クヴァ扇 扇子の原型といわれ

ウナギの目で流域空間を読み直す

JAXA/RESTEC 提供

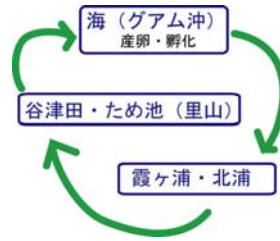
きめ細かなネットワーク全体がウナギの生息地として復活したら！
霞ヶ浦はウナギの一大産地にできる！



湖につながる谷津田や川、池、水田などが毛細血管のように広がっています。赤色は森林

NPO法人アサザ基金

◆ウナギの道◆



ウナギが世界的に激減しています。

※ウナギが元気に暮らしていくには海から湖、里山までの連続した環境が必要。現在は海と湖が隔たれ、湖の植生が減少し、里山も荒廃が進み、ウナギの生息環境が失われている。天然ウナギの再生には、流域ぐるみの取組みが必要！⇒ **カムバック・ウナギプロジェクト**

NPO法人アサザ基金

ニホンウナギ

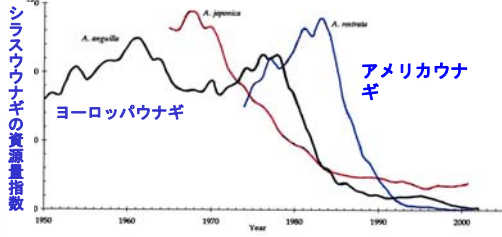


Figure 1 Time trends in juvenile abundance of the major eel stocks of the world. For *Anguilla anguilla*, the average trend of the four longest data series is shown, which trend appears to occur almost continent-wide for *A. rostrata*, data represent recruitment to Lake Ontario; for *A. japonica*, data represent landings of glassed in Japan.

ウナギは希少価値に！

流域研究会 立川賢一氏による

逆水門の柔軟運用による地域活性化



海から湖への魚類等の移動を可能とする。天然ウナギのブランド化する。



1997年から国や県に要望。現在、霞ヶ浦導水事業の代替案として提案中。

◆アサザプロジェクトによる経済効果の試算(漁業の再生)

逆水門の柔軟運用の最大効果(予測)

遡上障害解消と汽水域創出により、ウナギ、スズキ、ハゼ、イサザ、ヤマトシジミが全量回復

植生帯復元事業の最大効果(予測)

産卵適地や育成場の回復により、ワカサギ、シラウオ、エビが全量回復

	生産額/年	経費/年	利潤/	利潤増(現状比)
現状	2,551,972,191	971,411,888	1,580,560,303	-
短期	17,181,561,647	1,453,599,610	15,727,962,038	14,147,401,734
長期	36,833,629,730	4,486,346,379	32,347,283,351	30,766,723,047

長期で308億円の漁業者利潤増を見込むことが出来る。

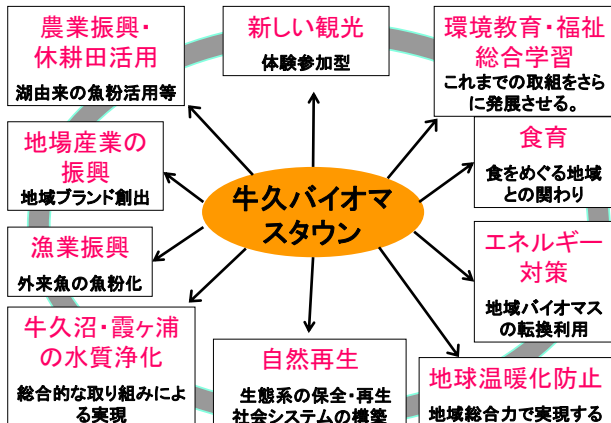
NPO法人アサザ基金

UFJ総研が試算

霞ヶ浦・北浦 この広大な流域全体がウナギの生息地になったら・・・すごいことに！

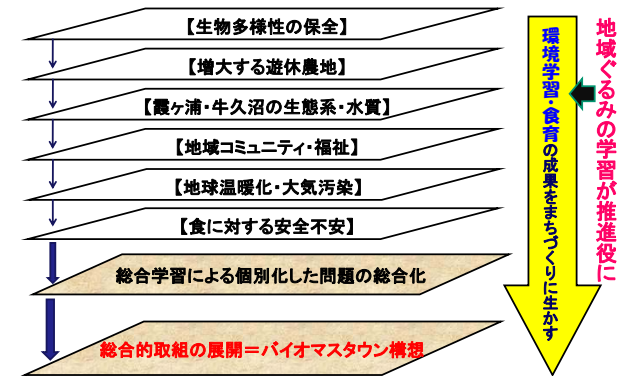
全国ブランドをめざすぞ！

流域全体を循環型に！



牛久市バイオスタウンから始まる地域の再生と地域循環型社会 NPO法人アサザ基金

牛久市バイオスタウン構想を活かしたまちづくり事業モデル



総合学習と連動した施策の総合化(問題解決能力の強化)

プラス思考のまちづくり ⇒ 住民の主体的な参加(行動)

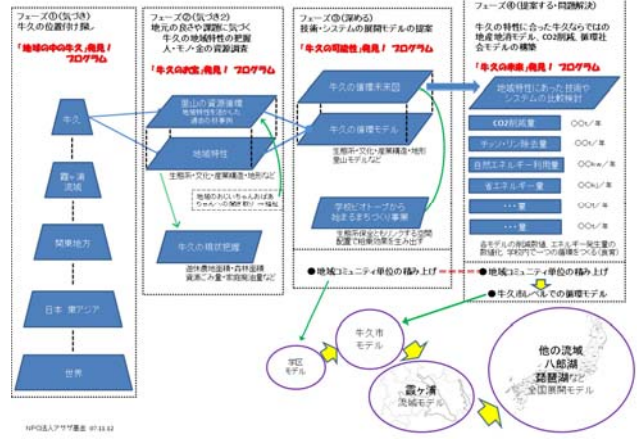
地域ぐるみの学習が推進役に
環境学習・食育の成果をまちづくりに生かす

地球温暖化防止、循環型社会構築を目指したまちづくり学習



牛久市の取り組みの先を行く学習を展開中
牛久の地域特性を活かした、牛久の取り組みを生徒たちと考え、まちづくりのなかでこれから実現していく。

学習プログラム「循環未来図つくり ～牛久発見プロジェクト～」



子ども達ひとりひとりが提案



地域資源の掘り起こし
人や物の動き
住宅や店舗の配置
森林や水田、河川など
地域特性を活かした脱温暖化・循環型社会の提案を考えて提案する。

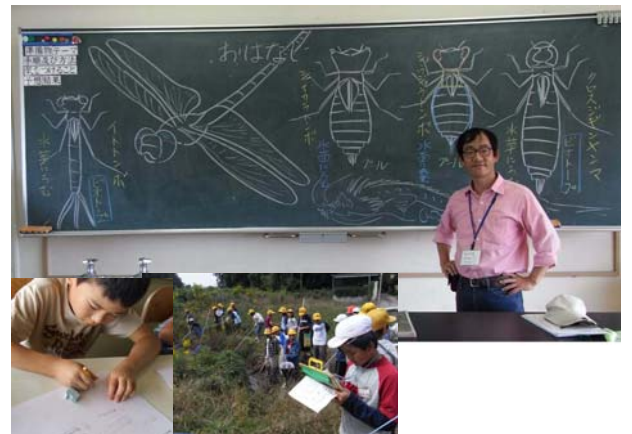
牛久市立下根中学校の取り組み



牛久市での取組の例 増え続ける遊休農地を再生する!



すべてが環境学習と一体化して進められています。



NPOを社会の中はどう機能させるのか

分かれ道

× 行政の機能を補完する。

少ない費用で公的な機能をNPOが維持する=下請け化
→ 縦割りし硬直化した行政システムを温存

◎ 行政をネットワークの中で機能させる。

NPOが行政など専門分化した組織間の連携をつくり
公的な機能を引き出す=ビジネスモデルの提案。
→ 社会システムの再構築 =ホルモン
→ 循環型社会(良き出会いの連鎖) 触媒

NPO法人アサザ基金

アサザ基金

121

NPOを社会のホルモンとして機能させる。

組織が巨大化し複雑化(縦割り化)して末端組織にまで十分に血液が行き届かなくなった。

どのように公益機能を維持するのか。

増税⇒血液を増やす。末端組織に血を送る。

削減⇒血液の届かなくなった組織を廃止する。

または、NPOが安い金額で請け負う。

NPOが社会のホルモンの役割を果たす。

⇒ 既存の離れた組織間を結び、新たな機能を引き出すことによって次々と公益を生み出す。

NPO法人アサザ基金

アサザ基金

122

河童がいっぱいの霞ヶ浦に！！

アサザプロジェクトをモデルにした取り組みが全国で始まっています！



NPO法人アサザ基金

123



ありがとうございました。

NPO法人アサザ基金

イラスト いじまひろし

124